

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成 16 年 11 月 11 日 (2004.11.11)

【公開番号】特開 2001-50161 (P2001-50161A)

【公開日】平成 13 年 2 月 23 日 (2001.2.23)

【出願番号】特願 平 11-222761

【国際特許分類第 7 版】

F 0 4 B 39/00

F 0 4 D 17/16

F 0 4 D 25/06

F 0 4 D 29/00

H 0 2 K 7/14

H 0 2 K 19/10

H 0 2 K 21/14

【F I】

F 0 4 B 39/00 1 0 6 D

F 0 4 D 17/16

F 0 4 D 25/06

F 0 4 D 29/00 B

H 0 2 K 7/14 A

H 0 2 K 19/10 A

H 0 2 K 21/14 M

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 11 月 14 日 (2003.11.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ロータが回転動作して気体を移送する気体移送機において、  
前記気体を移送するポンプロータと、前記ポンプロータを回転駆動するモータとを備え、  
前記モータはモータロータが耐腐食性の磁性材の突極部を有するリラクタンス形であり、ステータが、ステータ内径より内側まで樹脂モールドされ、ステータとロータ室内とを隔離した構造となっていて、

前記モータロータの突極部が前記ステータによって発生する磁気力によって吸引され回転することを特徴とする気体移送機。

【請求項 2】

前記モータロータを構成する磁性材料は、鉄ニッケル合金であることを特徴とする請求項 1 記載の気体移送機。

【請求項 3】

前記モータロータを構成する磁性材料は、パーマロイ材であることを特徴とする請求項 1 記載の気体移送機。

【請求項 4】

前記樹脂モールドとして、キャン形状の樹脂、もしくは非導電性材を用いたことを特徴とする請求項 1 記載の気体移送機。

【請求項 5】

前記気体移送機は、腐食性気体を気密容器内で循環させる循環ファンを備えた循環気流装置であることを特徴とする請求項 1 記載の気体移送機。

【請求項 6】

前記気体移送機は、真空ポンプであることを特徴とする請求項 1 記載の気体移送機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

【課題を解決するための手段】

請求項 1 に記載の発明は、ロータが回転動作して気体を移送する気体移送機において、前記気体を移送するポンプロータと、前記ポンプロータを回転駆動するモータとを備え、前記モータはモータロータが耐腐食性の磁性材の突極部を有するリラクタンス形であり、ステータが、ステータ内径より内側まで樹脂モールドされ、ステータとロータ室内とを隔離した構造となっていて、前記モータロータの突極部が前記ステータによって発生する磁気力によって吸引され回転することを特徴とする気体移送機である。